



暮らしから考える

HOUSING 未来予想

●青森大学教授・エッセイスト・ジャーナリスト
見城美枝子

カタカナ文化

日本語にカタカナ表記が多すぎる昨今、珍しく月に関しては漢字が使われているが、「エイプリルフール」「メイデー」「ジュンブライド」は別。響きで通そうとカタカナのままになったのかもしれない。カタカナ文字の怖さは響きでわかったような気がするところにある。一方、そんなカタカナやローマ字で他国の習慣を難なく取り入れてきた日本の文化力は、島国の知恵といえるが、現代では、カタカナの感覚でわかったつもりでは、世界の中の自国の位置を見失うのではないだろうか。

特集レポート

Special Report

早分かり

Q&A

**高齢者
居住安定化モデル事業が
めざすもの**

選定プロジェクトにみる
高齢者居住の
新たな取り組み

「高齢者居住安定化モデル事業」とは?

先導性のある高齢者住宅や生活支援システムとして選定された事業には、国が建設工事費等の一部を助成する。2009年度にスタートし、初年度は47件が採択された。介護・医療サービスと連携した高齢者住宅の整備に関する提案が多かった。2010年度は新たに「高齢者等居住安定化推進事業」の名称で行われ、2部門で実施される。また、障害者世帯と子育て世帯も事業提案の対象に追加される。

**選定プロジェクトにみる
高齢者居住のめざすべき方向とは?**

地域継続居住の実現に向け、地域における面的なケア体制の構築が求められる。市民・企業・行政の三者が協力しての地域活性化の視点も重要だ。グループリビングのような協働型居住にも注目したい。既存住宅ではバリアフリー対応などハード面の充実が不可欠となる。見守り・駆け付けサービスなど安心・安全を支えるサービスの供給がさらに進むこと、高齢者の住まいに関するコンサルティング、カウンセリングなどの取り組みが積極的に行われることなども期待したい。

DATA FILE

データファイル

**都道府県別にみた
住宅ストックの現状**

2008年 住宅・土地統計調査(確報集計)結果

2008年10月1日時点の総住宅数は5,759万戸。そのうち、空き家は757万戸で空き家率は13.1%に上昇。都道府県別では、総住宅数は東京都が60万戸増と最も増加。次いで32万戸増の神奈川県、23万戸増の愛知県、22万戸増の大阪府の順。増加率は滋賀県が12.6%でトップ。空き家率は山梨県、持ち家住宅率は秋田県がトップで、持ち家住宅率が低いのは東京都、沖縄県、大阪府の順。

変わる街探検隊

第53回

**勝どき駅は利用者が大幅増
大江戸線勝どき駅周辺地域**

都営大江戸線開通で交通アクセスが改善された「勝どき」駅周辺地域は、下町情緒と近代化が交錯するエリア。2001年4月に開業した「晴海アイランドトリトンスクエア」ほか、大規模マンションの供給も行われた。現在も勝どき駅前地区第一種市街地再開発として、超高層マンションの建設が進行。「勝どき」駅は今後も乗降人員増が見込まれるため、2010年度以降に出入り口やホームの増設、コンコース拡幅などが行われる予定である。



晴海アイランドトリトンスクエア



都営大江戸線「勝どき」駅

寄稿 都市を考える「インフラ都市論」Vol.16

**蒸気機関が首都・東京を造った
封建から中央集権へ**

●(財)リバーフロント整備センター理事長 首都大学東京客員教授 竹村 公太郎

JR東日本の品川～田町間のトンネルの異常な天井の低さの謎は、三代目広重の絵で解ける。1872年、新橋～横浜間に鉄道開通。新橋～品川間の高輪付近は旧大名邸を迂回し、蒸気機関車は海の中を走っていた。そのため海中に土手を築く。そこに舟が漁に出るため設けられたトンネル、それこそが謎の小さなトンネルの正体だ。蒸気機関車は東京へ人々が集まるインフラ装置であった。封建社会を支えた分断されていた地形の日本列島は、鉄道によって貫かれ、1つに結ばれ、明治の近代化は一気に進んだのである。



2010年2月

**首都圏・近畿圏の
マンション
市場動向**

首都圏

| | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 新規供給戸数 | 2,777戸 | (前年同月比) 10.7% ↗ |
| 初月販売率 | 70.7% | (前年同月比) 9.0%ポイント ↗ |
| 平均価格 | 4,772万円 | (前月比) 15.3% ↗ |
| 分譲㎡単価 [3.3㎡単価] | 679千円 [2,245千円] | (前月比) 12.0% ↗ |

近畿圏

| | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 新規供給戸数 | 1,439戸 | (前年同月比) △7.0% ↘ |
| 初月販売率 | 63.2% | (前年同月比) 8.1%ポイント ↘ |
| 平均価格 | 3,264万円 | (前月比) △9.9% ↘ |
| 分譲㎡単価 [3.3㎡単価] | 504千円 [1,667千円] | (前月比) 0.0% ⇐ |